

令和2年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文小学生の部 最優秀賞  
(国土交通大臣賞)

「 キャンプで学んだ土砂災害 」

神奈川県 秦野市立鶴巻小学校 5年 <sup>あきよし</sup>秋吉 <sup>ゆう</sup>優

わたしの家族は、毎年、夏休みに家族で、神奈川県山北町にあるキャンプ場に行きます。川遊びをしたり、たき火でご飯を作ったりキャンプを楽しみにしていますが、今年は、いつもと少し様子が違いました。

キャンプ場に向かうと中では、たおされた木や、山がくずれてむきだしになっている所が、ありました。

さらに進んで、丹沢湖の先の山の奥に入り、わたし達の泊まるキャンプ場の近くまで行くと、かん没した道路のふっきゅう工事を、しているところがいくつもありました。

キャンプ場に行く前に家族で、インターネットで調べた風景と少しちがったので、おかしいなと思いました。

写真では、たくさんの子どもが、泳いでいた、水深のある所にとっても大きな岩がいくつもありました。おそらく、その川には、とびこめるような一だん高い場所があるのですが、その場所の岩が落ちてきたんだと思いました。

後でキャンプ場の管理人さんに話を聞いてみると、「去年の台風19号のせいで、たくさん土砂災害が発生し、この辺りは木が倒れたり、岩が落ちたりしてだいぶ変わった。」と話していました。

そのキャンプ場は、山の奥深いところにあるので、土砂災害の被害がたくさんあったんだなと思いました。

この事がきっかけで、わたしは土砂災害のことをもっと学びたいと思い、防災士の資格を持つ父と、一緒に色々な事を調べてみました。

一つ目は、土砂災害の危険がある場所は、山奥だけでなく、私の住んでいる身近な場所にあることです。市役所でもらった土砂災害のハザードマップで、自宅の周りを調べてみると、小学校への通学路の途中に、ある崖が、危険な区域になっていることを知りました。

二つ目は、土砂災害の知識を身につけて、危険から身を守ることです。土石流や、がけの、危険な場所は、ハザードマップでじぜんにしらべることができます。また、大雨のふっている時のような土砂災害の前触れを、知ることで今は近づいてはいけないことが、わかります。

三つ目は、安全な工事している場所と、そうではない場所の違いを知ることです。わたしは、父と一緒に山の中にある砂防えん堤を見に行きました。えん堤が土砂をせき止めて被害を減らす仕組みを学び、山の中にも、こんなダムがあるのだと感心しました。

父からは、「砂防えん堤がない場所もたくさんあるので安心しきってはいけません。大切なのは正しく恐れることだよ。」と言われました。

わたしは、家族と一緒にキャンプに行くのがとても大好きです。そのためには、あらかじめハザードマップで土砂災害が起こりそうな場所を、確認し、天気予報で今後の天気を把握することで、土砂災害の危険から、身を守る準備をするようにします。

来年の夏休みも、また山北町で楽しいキャンプができるように、土砂災害を、「正しく恐れる」ことを忘れずにしていきたいと思います。